

(規則) 様式第7 (第7条関係)

政務活動費成果報告書

2024年 3月 15日
2月 19日

犬山市議会

議長 柴田浩行 様

議員名 岡 覚

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年月日	2024年 2月13日(火) ~ 2024年 2月14日(水) (泊 2日)
(2) 場所	(1) 富山市(人口≒407,500人)、(2) 野洲市(人口≒500,000人)
(3) 形態	会派 (日本共産党犬山市議員団) その他 ()
(4) 内容	<p>① 富山市、テーマ: 富山型サービスについて</p> <p>a) 市役所、福祉保健部 障害福祉課で、 別冊(全14冊)にて説明を受ける。 その特徴は ①小規模 ②共生(高知、障害者など、誰もが) ③地域密着。 行政との連携 → 富山型サービス推進特区 → 障害者自立支援法で 全16事業(418~) → R時には全16事業所となる。</p> <p>b) 「のゆびとまれ」施設見学と惣万理事長ヒアリング。 惣万語録。「制度はタテ割。それを共生に。制度をかえるのに時間がかかった」「ニーズがあり、それに近づける制度を求めた。制度は後からついてくる」「障害? 『害』の人はいない。障害のくくりはしない」「県に3日間連続して接歩した」「子ども運にもいい所。みんな同じだと思えてくる。」「外山先生に、敵をまちがえるな!と言われた」</p>
(5) 成果・提言	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ近くの大口町にも惣万さんの所で研修し立ち上げた施設があるとわかった。 ・犬山市でも富山型サービスができる様アピールするべき。



(規則) 様式第7 (第7条関係)

政務活動費成果報告書

2024年3月11日

犬山市議会
議長 柴田浩行様

議員名 岡 寛

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年月日	2024年 2月 13日(火) ~ 2024年 2月 14日(水) (泊 2日)
(2) 場所	(1) 富山市(人口≒407,500人), (2) 野洲市(人口≒50,000人)
(3) 形態	会派 (日本共産党犬山市議員団) 他 ()
(4) 内容	<p>[2] 野洲市、テーマ:生活困窮者支援事業について、 テーマ名の別冊(39ページ)にて説明を受ける。 H25年度前からの取り組みであり、R5年度は正規2名+ 合計年度職員7名で業務に当たっている。 H28年に制定した「野洲市くらし支えあい条例」は近江 商人の教え「三方よし」を継承し、事業者・消費者・地域とも 「よし」とするもの。R5年度のテーマの事業費 5,594千円。うち 学習支援事業委託料(a) 2,834千円 住居確保給付金 扶助費(b) 2,700千円</p>
(5) 成果・提言	<p>(1) 野洲市はR4年から重層的支援体制整備事業の なかに本事業を位置づけて取り組んでいる。犬山市の 本印事業はR6年からであるが野洲市をはじめ先 進自治体は多くあるので、彼等からしっかりと学ぶ。注 (2) 職員体制とその力量(質)は重要であり、野洲市に はかつて生水さんという素晴らしい方がみえた。 (3) 上記(a),(b)の事業は犬山市でも重要である。 (4) 本テーマ及び重層的支援に共通する「支援の 心」とも言えることを条例化できないが検討する こと。</p>